

令和4年度 釧路工業高等専門学校専攻科  
入学者選抜学力検査問題

【 数 学 】

【 注 意 事 項 】

1. 検査開始の合図があるまで、この問題用紙を開かないこと。
2. この問題用紙は、本表紙（このページ）を含めて3ページである。
3. 解答用紙は、5枚（No.1～No.5）である。
4. 問題は、問題1～6まであり、すべて解答すること。
5. 問題1・問題2は「解答用紙 No.1」に、問題3は「解答用紙 No.2」に、問題4は「解答用紙 No.3」に、問題5は「解答用紙 No.4」に、問題6は「解答用紙 No.5」にそれぞれ解答を記入すること。
6. 受検番号及び氏名は、すべての解答用紙の所定欄に必ず記入すること。
7. この問題用紙は、検査終了時に持ち帰ること。

## 令和4年度 釧路工業高等専門学校専攻科入学者選抜学力検査

## 【数 学】

問題1 次の問いに答えなさい。

[計 15 点]

(1) 方程式  $2^{2x} + 2^{x+1} = 80$  を満たす  $x$  を求めなさい。

[8 点]

(2) 2点  $A(1, 3)$ ,  $B(3, -1)$  について、線分  $AB$  の垂直二等分線の方程式を求めなさい。

[7 点]

問題2 次の問いに答えなさい。

[計 15 点]

(1) ベクトル  $\vec{a}$ ,  $\vec{b}$  について、 $|\vec{a}| = 4$ ,  $|\vec{b}| = 3$ ,  $|\vec{a} - \vec{b}| = \sqrt{13}$  のとき、 $\vec{a}$  と  $\vec{b}$  のなす角  $\theta$  ( $0 \leq \theta \leq \pi$ ) を求めなさい。

[7 点]

(2) 行列式 
$$\begin{vmatrix} 1 & ab & bc & ca \\ 0 & 1 & bc & a^2 \\ 0 & 1 & ca & b^2 \\ 0 & 1 & ab & c^2 \end{vmatrix}$$
 を因数分解しなさい。

[8 点]

問題3 曲線  $y = x^3 - 3x^2 + 2$  について、次の問いに答えなさい。

[計 15 点]

(1) 関数  $y = x^3 - 3x^2 + 2$  の増減を調べ、極値を求めなさい。また、グラフの概形をかきなさい。

[8 点]

(2) 曲線  $y = x^3 - 3x^2 + 2$  と直線  $y = x - 1$  で囲まれた図形の面積  $S$  を求めなさい。

[7 点]

問題4 領域  $D = \{(x, y) \mid 4 \leq x^2 + y^2 \leq 9\}$  とするとき、次の問いに答えなさい。

[計 15 点]

(1) 領域  $D$  を図示しなさい。

[3 点]

(2)  $x = r \cos \theta$ ,  $y = r \sin \theta$  とするとき、ヤコビアン  $\begin{vmatrix} x_r & x_\theta \\ y_r & y_\theta \end{vmatrix}$  の値を求めなさい。

[4 点]

(3) 2重積分  $\iint_D \frac{1}{(1+x^2+y^2)^2} dx dy$  の値を求めなさい。

[8 点]

## 令和4年度 釧路工業高等専門学校専攻科入学者選抜学力検査

## 【数 学】

問題5 次の問いに答えなさい。

[計 20 点]

(1) 微分方程式  $\frac{dy}{dx} + y = x$  の一般解を求めなさい。 [10 点]

(2) 周期  $2\pi$  の周期関数  $f(x) = \begin{cases} 0 & (-\pi \leq x \leq -\frac{\pi}{2}, \frac{\pi}{2} \leq x < \pi) \\ 1 & (-\frac{\pi}{2} < x < \frac{\pi}{2}) \end{cases}$  について、次の問いに答えなさい。

(a)  $f(x)$  のフーリエ級数を求めなさい。 [7 点]

(b)  $f(x)$  のフーリエ級数を利用して、級数  $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(-1)^{n+1}}{2n-1}$  の値を求めなさい。 [3 点]

問題6 次の問いに答えなさい。

[計 20 点]

(1) 関数  $F(s) = \frac{s^2 + 8}{s(s-2)^2}$  のラプラス逆変換  $\mathcal{L}^{-1} \left[ \frac{s^2 + 8}{s(s-2)^2} \right]$  を求めなさい。ただし、必要なら、下で与えた、関数  $f(t)$  とそのラプラス変換  $F(s) = \mathcal{L}[f(t)]$  の変換表を利用してよい。 [7 点]

|        |                      |                 |                                 |                            |
|--------|----------------------|-----------------|---------------------------------|----------------------------|
| $f(t)$ | $t^n$                | $e^{at}$        | $\sin \omega t$                 | $\cos \omega t$            |
| $F(s)$ | $\frac{n!}{s^{n+1}}$ | $\frac{1}{s-a}$ | $\frac{\omega}{s^2 + \omega^2}$ | $\frac{s}{s^2 + \omega^2}$ |

(2) ベクトル方程式  $\vec{r}(t) = \log t \vec{i} + 2t \vec{j} + t^2 \vec{k}$  ( $1 \leq t \leq 2$ ) で表される曲線の長さ  $s$  を求めなさい。ただし、 $\vec{i}, \vec{j}, \vec{k}$  はそれぞれ  $x$  軸,  $y$  軸,  $z$  軸方向の基本ベクトルとする。 [7 点]

(3) スカラー場  $\varphi(x, y, z) = e^{x-y} \sin^2 z$  の勾配  $\nabla \varphi$  とラプラシアン  $\nabla^2 \varphi$  を求めなさい。 [6 点]